

第35期 報告書

(2012.3.1 ~ 2013.2.28)



イオンバイク平岡店

イオン北海道株式会社

(証券コード 7512)

2014年2月期は3円増配の実現に向け、営業総利益を拡大するための施策をスピードをあげて取り組んでまいります。



代表取締役社長 柴田祐司

平素より当社経営に関して格別のご支援をいただき、誠にありがとうございます。

当事業年度における北海道の経済状況は、前事業年度の東日本大震災後の特需反動もあり厳しい消費状況から始まりました。事業年度の中盤は雇用状況等の経済指標の改善を受け、回復の兆しを顕著に見せたものの、年始以降の記録的な降雪などの天候要因が消費行動に大きな影響を与えるなど総じて厳しい1年となりました。

このような消費環境の下、当社は、「北海道No.1の信頼される企業」を目指し、中期経営計画の指針である「収益力の向上」、「成長戦略の構築」、「北海道に根ざした店づくり」及び「次代を担う人材育成」を柱に営業活動に取り組んでまいりました。結果、当社の2013年2月期の業績は売上高1,520億54百万円、営業利益80億52百万円、経常利益76億77百万円、当期純利益は30億38百万円となり、営業利益及び経常利益では2期連続で過去最高益を更新することができました。配当につきましては、2006年2月期以来7期ぶりに復配し、1株当たり7円の配当を実施させて頂きます。

また、2014年2月期の業績見通しにつきましては、売上高1,543億円、営業利益81億円、経常利益77億円、当期純利益31億円を予想し、配当につきましては3円増配し、1株あたり10円の配当を予定しております。

この計画数値を実現させるため、中期経営計画の基本方針に基づいて各種施策を継続して取り組むとともに、さらに深化させるべくスピードをあげて取り組んでまいります。

「収益力の向上」につきましては、昨年以上の売場の活性化を積極的に行い「低価格ニーズ」と「こだわりニーズ」に対する取り組みを強化して新たな顧客ニーズの獲得を図り、客数の増加、売上高の拡大につなげてまいります。併せてコスト構造改革にも取り組み、LED照明導入の拡大等によるランニングコストの低減や当期より専門部署を設置して取り組んでいるオペレーション改革の取り組みを深化させ人時生産性の向上を図ってまいります。

「成長戦略の構築」につきましては、札幌圏における小型スーパー「まいばすけっと」の多店舗展開を着実に軌道に乗せるとともに、サイクルの路面店を新規出店させるなど専門店化の実験にも取り組み、GMS事業以外の新たな業態開発を深化させて成長戦略を推進してまいります。

「北海道に根ざした店づくり」では、地域に密着したプロモーションを強化して来店動機の創出を図り客数の増加につなげてまいります。また、道産デーの更なる強化や地域のお客さまにご支持いただける新たなWAONカードの開発等にも取り組み地域密着経営を今後も継続して進めてまいります。

「時代を担う人材育成」では、今後の成長戦略を支える人材育成に注力を致します。特にまいばすけっとの出店拡大や、サイクルなどの専門店化の推進に向け、人材の育成に取り組み、成長分野への人員のシフトを図ってまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともご指導ご鞭撻を賜りますようお願い致します。

2013年5月

決算総括

(単位：百万円)

	第35期 2012.3.1～2013.2.28	第34期 2011.3.1～2012.2.29
売上高	152,054	151,107
営業利益	8,052	7,650
経常利益	7,677	7,063
当期純利益	3,038	2,403
総資産	88,672	89,640
純資産	22,776	19,687

注：記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

営業全般の状況

当社は、変化するお客さまのニーズに応えるため、毎期、積極的な売場改装を実施しております。特に当期は、これまで少額投資で効果を上げやすかった衣料や住居余暇の活性化に加え、比較的投資のかかる食品売場の活性化にも積極的に取り組み、「簡便」「個食」「健康」等を切り口に新たな商品群を冷凍食品売場や惣菜売場などで導入し、品揃えの拡充を図りました。

衣料部門では、「ゴールドンベア」や「シンプルライフ」などシニア世代になじみのあるブランドの新規導入を婦人・紳士衣料売場で積極的に行うなど、シニアに対応した品揃え強化をして売上の向上を図りました。一方、競争環境が激化している子供衣料部門においては、客数が落ち込み苦戦致しました。結果、売上高は353億20百万円（前期比99.5%）となりました。

食品部門では、冷凍食品売場に、例えば「鯖の味噌煮」など簡単に食べられる簡便惣菜の品揃え強化を行うなどにより、売場の活性化が成果として結びつき好調に推移しました。またクリスマスや節分や年末年始などの社会催事では、「寿司」や「オードブル」などの品揃えや予約の拡

部門別売上高

(単位：百万円)

	第35期 2012.3.1～2013.2.28	第34期 2011.3.1～2012.2.29
衣料	35,320	35,491
食品	81,439	79,653
住居余暇	31,937	32,151
その他	3,357	3,811
合計	152,054	151,107

注：記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

大など、お客さまの利便性を意識したサービスの拡充をすることで好調に推移しました。結果、売上高は814億39百万円（前期比102.2%）となりました。

住居余暇部門では、一般医薬品の販売ができる登録販売者を増員することで医薬品取扱店舗を拡大するとともに、介護用品の品揃え拡大などシニアからニーズの高い商品の品揃えを強化してまいりました。また、文具などを扱うステーションナリー&サプライ部門では、話題の商品や新商品を素早く導入し、売場の活性化を行うなど鮮度感のある売場づくりに取り組みました。結果、売上高は319億37百万円（前期比99.3%）となりました。

販売費及び一般管理費につきましては、販促費が政策的に新聞やテレビなどのマスメディア販促を強化したために増加したものの、設備費において家賃の減額改定等による地代家賃の削減や、LED導入による電気代の削減の結果、前期比100.2%、既存比99.9%と横ばいにとどめることができました。

結果、営業利益は4億1百万円の増益となる、80億52百万円となりました。

財務諸表（概要）

損益計算書

	(単位:百万円)	
	第35期 2012.3.1～2013.2.28	第34期 2011.3.1～2012.2.29
売上高	152,054	151,107
売上原価	110,845	110,304
売上総利益	41,209	40,802
その他の営業収入	16,262	16,166
営業総利益	57,472	56,969
販売費及び一般管理費	49,419	49,318
営業利益	8,052	7,650
営業外収益	267	216
営業外費用	641	803
経常利益	7,677	7,063
特別利益	—	84
特別損失	1,655	1,970
税引前当期純利益	6,022	5,177
法人税、住民税及び事業税	3,089	1,444
法人税等調整額	△105	1,329
当期純利益	3,038	2,403

注：記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

キャッシュ・フロー計算書

	(単位:百万円)	
	第35期 2012.3.1～2013.2.28	第34期 2011.3.1～2012.2.29
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,967	8,949
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,043	△8,723
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,120	△2,705
現金及び現金同等物の減少額	△196	△2,479
現金及び現金同等物の期首残高	2,746	5,225
現金及び現金同等物の期末残高	2,549	2,746

注：記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

株主資本等変動計算書

	株主資本					評価・換算 差額等	新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計			
2012年3月1日残高	6,100	13,354	1,877	△1,611	19,721	△54	20	19,687
期末会計期間中の変動額								
当期純利益			3,038		3,038			3,038
自己株式の取得				△0	△0			△0
自己株式の処分				△2	4			4
その他						24	22	46
期末会計期間中の変動額合計	—	—	3,036	6	3,043	24	22	3,089
2013年2月28日残高	6,100	13,354	4,913	△1,604	22,764	△30	42	22,776

注：記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

貸借対照表

	(単位:百万円)	
	第35期 2013.2.28	第34期 2012.2.29
【資産の部】		
流動資産	21,287	20,740
うち商品	12,058	11,320
固定資産	67,385	68,900
有形固定資産	54,250	55,384
無形固定資産	1,370	1,387
投資その他の資産	11,763	12,128
資産合計	88,672	89,640
【負債の部】		
流動負債	41,993	43,246
固定負債	23,902	26,706
負債合計	65,895	69,953
【純資産の部】		
株主資本	22,764	19,721
資本金	6,100	6,100
資本剰余金	13,354	13,354
利益剰余金	4,913	1,877
自己株式	△1,604	△1,611
評価・換算差額等	△30	△54
新株予約権	42	20
純資産合計	22,776	19,687
負債及び純資産合計	88,672	89,640

注：記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

会社情報（証券コード7512）

会社概要（2013年2月末日現在）

社名	イオン北海道株式会社
代表者	柴田祐司（代表取締役社長）
本社	〒003-8630 札幌市白石区本通21丁目南1-10
事業内容	総合小売業
設立	1978年4月5日
資本金	61億43万円
上場金融商品取引所	東京証券取引所市場第一部
（証券コード 7512）	札幌証券取引所
決算期	2月末日
売上高	1,520億円（2012年3月～2013年2月）
店舗数	38店舗
従業員数	6,957名
主要取引銀行	みずほコーポレート銀行、北洋銀行、三井住友信託銀行 北海道銀行、農林中央金庫、三井住友銀行 三菱東京UFJ銀行、北陸銀行

取締役・監査役（2013年5月28日現在）

代表取締役社長	柴田祐司
取締役	天廣俊彦
取締役	竹垣吉彦
取締役	清水信昭
取締役	橋本優
取締役	山田重道
取締役	濱田和成
常勤監査役	上西啓一
監査役	吉岡征雄
監査役	名古屋則雄
監査役	渡部まき

注：吉岡征雄氏、名古屋則雄氏、渡部まき氏は社外監査役であります。

執行役員（2013年4月9日現在）

常務執行役員	天廣俊彦	管理本部長 企業倫理担当役員
執行役員	竹垣吉彦	営業本部長
執行役員	山田重道	商品本部長
執行役員	清水信昭	管理本部総務部長
執行役員	橋本優	営業本部第一事業部長 兼SuC事業部長
執行役員	田中史之	営業本部第二事業部長
執行役員	松川陽一	営業本部第三事業部長
執行役員	水野良三	営業本部SC事業部長
執行役員	大野芳高	管理本部CS・社会貢献部長
執行役員	熊谷一弘	新規事業部長
執行役員	豊田和宏	管理本部財務経理部長
執行役員	相馬仁美	営業本部営業企画部長
執行役員	山本治	商品本部衣料商品部長

大株主（上位10社）（2013年2月末日現在）

株主名	持株数			持株 比率
	普通株式	A種類株式	合計	
イオン株式会社	10,441,000株	24,500,000株	34,941,000株	63.7%
イオンリテール株式会社	5,604,720株	—	5,604,720株	10.2%
加藤産業株式会社	1,200,000株	—	1,200,000株	2.2%
イオン北海道従業員持株会	914,714株	—	914,714株	1.7%
株式会社北洋銀行	559,400株	—	559,400株	1.0%
総合商研株式会社	421,800株	—	421,800株	0.8%
北海道コカ・コーラボトリング株式会社	380,000株	—	380,000株	0.7%
東洋水産株式会社	319,500株	—	319,500株	0.6%
モリリン株式会社	300,000株	—	300,000株	0.6%
株式会社北海道銀行	280,000株	—	280,000株	0.5%

注：持株比率の算定は、自己株式（2,800,428株）を除外して計算しております。

株主優待

2月末日の株主さまに、保有株式数に応じて株主優待券を贈呈いたします。また500株以上保有の個人株主さまには、全国のイオングループ143店舗で開設している「イオンラウンジ」をご利用できるご利用カードを発行いたします。

【株主優待券の贈呈】

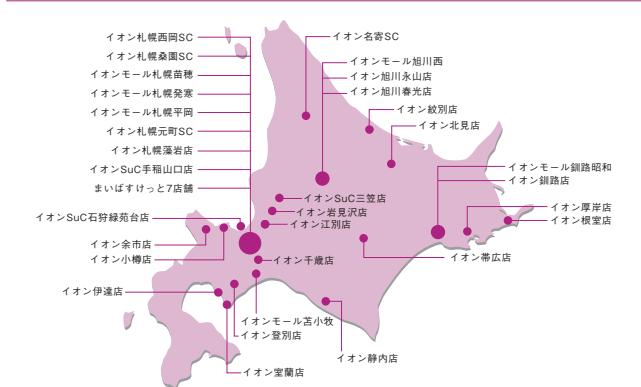
年1回100株以上保有の株主さまに優待券を贈呈します。

保有株式数	優待内容
100株～999株	100円券×25枚＝2,500円分
1,000株～1,999株	100円券×50枚＝5,000円分
2,000株以上	100円券×100枚＝10,000円分

【イオンラウンジのご利用】

お買物の合間にごゆっくりとおくつろぎいただくために、ラウンジ会員さまに限定したサービスをご用意しております。全国のイオンラウンジ開設店舗にてカードをご提示のうえお気軽にご利用下さい。有効期限は発行後1年間とし、それぞれに記載されている期限とします。

店舗情報（2013年2月末日現在）



トピックス

イオン札幌桑園店食品ゾーンをリニューアル

当社では、変化するお客さまのニーズに対応するため、積極的な店舗改装を実施しております。中でも、イオン札幌桑園店では、単身世帯や高齢世帯の増加に伴い食の「作らない化」が進んでいることを背景に、「必要な分だけ食べたい」「バランスよく美味しい惣菜が食べたい」というニーズにこたえるべく、惣菜売場を3月29日（金）にリニューアルオープン致しました。イオングループの弁当・惣菜専門店「オリジン弁当」の量り売り惣菜のノウハウを取り入れた売場は、お客さまから高評価を頂いており、今後他の店にも導入していく予定です。

当社はこれからも、お客さまの変化するニーズに対応すべく、積極的に改装を実施してまいります。



沖縄フェアの開催

当社では、2013年1月10日（木）から14日（月）に沖縄フェアを開催致しました。11日（金）にはイオン札幌平岡店で、エイサー隊による演舞実演や、サーターアングギーの実演販売を実施し、多くのお客さまからご好評を頂きました。

イオン北海道はこれまでも、アメリカフェアや、オーストラリアフェアなど各国フェアを開催し、普段北海道ではなかなか売っていない食材・料理や、その国や地方の文化を紹介してまいりました。

これからも全国各地はもとより、全世界のおいしさ・文化などをお届けし、お客さまの生活がより楽しくなるような提案を積極的に行ってまいります。



まいばすけっと7店舗オープン

当社は、昨年3月16日（金）にオープンした「まいばすけっと1号店」を皮切りに、昨年1年間で札幌市内に7店舗開店させてまいりました。「まいばすけっと」は、少子高齢化、人口の都市集中化を背景に、都市部の小商圏に対応した小型スーパーマーケットです。「近くて、安くて、便利なお店」をコンセプトに、コンビニ並みの50坪の中に普段のお買いものなら十分に満足のいただける品揃えを実現しております。また、お客さまからは近くに徒歩で行けるスーパーができて大変便利だというお言葉も頂いております。これからも一層お客さまに支持していただける品揃えや売場づくりを実現させ、今後も店舗を拡大させてまいります。



ディスカウント業態への転換

当社は、旭川や釧路・根室エリアにおける価格競争の激化を背景に、昨年3月にイオン旭川春光店を、9月にイオン根室店の食品売場をディスカウント業態の店舗にリニューアル致しました。鮮度・品質にこだわった生鮮食料品や生活必需品を今まで以上に毎日お値打ち価格で提供し、「買って実感！毎日お得！」をコンセプトに地域に根ざした店づくりを実現しております。

当社は今後も、地域のお客さまに安心してお買いものを楽しんでいただけるような品揃え、売場づくりを実現してまいります。



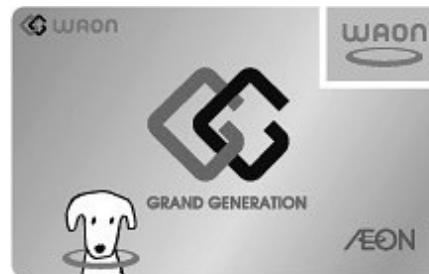
イオンバイク2店舗オープン

当社は、今年の3月15日（金）に北海道初となるイオンの自転車専門店「イオンバイク北見店」を、オホーツク管内最大級の売場面積と品揃えでオープンし、翌週23日（土）には、札幌市内に「イオンバイク平岡店」をオープン致しました。「イオンバイク」は、専門性の高い品揃えやサービスを提供する売場の「専門店化」に取り組むイオンの自転車専門店であり、当社はイオンとの連携を図りながら地域のお客さまに多彩な商品と充実したサービスをご提供してまいります。



G.G.WAON発行

当社では、55歳以上のシニア層の方々を、「グランド・ジェネレーション（G.G.）」として位置づけ、2012年9月に、新たなWAON、「G.G.WAON」を発行し、2013年2月末までに約2万枚を発行致しました。これにより、ほっかいどう遺産WAONやゆうゆうWAONを加えた合計の累計発行枚数は65万枚を超え、多くのお客さまからご支持を頂いております。今後も既存のWAONカードの強化を図るとともに、地域の方々に支持される新たなWAONカードの開発、発行にも取り組んでまいります。



ファイターズ公式スポンサー

当社は本年より、多くの道民の皆さまから支持されている北海道日本ハムファイターズのオフィシャルスポンサーとなりました。ファイターズは、各選手が全市町村の地域のまちづくり・まちおこしに寄与する「市町村応援大使」を務めるなど、地域に根ざした取り組みを積極的に行っております。当社と致しましても、オフィシャルスポンサーになったのを契機に、ファイターズの「市町村応援大使」とのコラボ等、同じ地域密着を推進するイオン北海道ならではの新たな取り組みを実施していくことにより、来店客数の増加につながってまいります。



チアーズエコ農園プロジェクトを実施

当社では、地域の子どもたちとともに環境学習を行うエコクラブ「イオンチアーズクラブ」をGMS全店舗で発足し、日々活動を行っており、昨年は新たに「エコ農園プロジェクト」を実施致しました。

このプロジェクトでは、地域の「トップバリュ グリーンアイ」の生産者の皆さまとイオンの従業員が、野菜を作る過程での環境への配慮や農薬を減らすための工夫、おいしさへのこだわりなどを紙芝居などで分かりやすく子どもたちに説明します。子どもたちは、環境に配慮した野菜作りについて学ぶとともに、「トップバリュ グリーンアイ」の野菜の収穫や選果場での包装作業、収穫した野菜の試食などを通じて、地域の農業や環境について理解を深めます。

当社では、お子さま・イオン店舗・商品部門・産地など、ステークホルダーをつなぐコミュニケーションの場として、このプロジェクトを推進してまいります。



株主メモ

事業年度	毎年3月1日から翌年2月末日まで
定時株主総会	毎年5月開催
基準日	定時株主総会 毎年2月末日 期末配当金 毎年2月末日 中間配当金 毎年8月31日
	そのほか必要がある場合には、あらかじめ公告いたします。
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
事務取扱場所 (郵便物送付先)	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎0120-782-031
(インターネットホームページURL)	http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html
公告方法	当社ホームページに掲載いたします。 http://www.aeon-hokkaido.jp/finance_03.html